

第5回北海道レフェリーアカデミー活動報告書

オホーツク地区 鈴木辰汰

日時:2025 年7月19日、7月20日

【1日目】

会場: 中島緑地多目的運動広場球技場 A、西帯広コミュニティセンター

時程: 10:00 集合

11:35~15:25 試合実践

16:00 講義「1試合・1シーズンに必要な質」

17:00 振り返り「審判員主体で行う」

18:30 諸連絡・解散

担当試合:Uー18サッカーリーグ 2025 北海道ブロックリーグ道東 1 部

白樺学園高校 VS 帯広三条高校(主審) 担当 ins:岡田渉 RAI

帯広柏葉高校 VS 帯広緑陽高校(第 4 の審判員)

〈自己分析〉

決して満足のいくようなものではなかった。前半の終わりにアディショナルタイムのミスを行ってから、ゲームの展開が変わり対立が3回、退場者1名と自分でゲームを難しくしてしまった。動きの部分でも巻き込まれる部分も何度かあり、なかなかこの巻き込まれることに関して解決策が浮かばないので、これから意識的に行っていきたい。また、レフェリーサイドへの飛び出しと PA 内の争点との距離に課題を感じるので意識的に取り組んでいきたい。

〈ins 分析〉

1 試合の中で色々あったのにも関わらず、無事に試合を終えられた事は評価できる事だと思います。

この試合で私が課題だと感じた事は大きく分けて 2 つです。一つは心の部分の切り替えが行えていない事です。前半のアディショナルタイムは大きなエラーだと思います。そのことをハーフタイムが終わるまで 4 審席で反省している姿を見て誰が信頼をするのでしょうか。ハーフタイムの審判チームの共有を除き、次回からは振り返りは然るべき時に然るべき場所で行って下さい。

二つめは競技規則の理解の欠落です。これに関しては、鈴木審判員がどのカテゴリーを目指すかを抜きにして一審判員として必要な部分だと思います。ここの部分を早急に取り組まない限り自身と選手とのギャップ、自身とチームとのギャップは埋まらないのではないのでしょうか。総じて厳しいコメントにはなりましたが更なる飛躍に期待しています。

【2日目】

会場:白雲山

時程:9:00 集合・移動

10:30 登山

12:30 昼食

13:00 下山

14:40 移動

16:00 諸連絡・解散

〈感想〉

登山は中学2年生以来でほとんど上ったことがないビギナーだったので正直こんなに息が上がり、汗をかくものだとは思っていませんでした。身体的なトレーニングはもちろん、仲間たちで助け合いながら何かをすることの大切さについて考えさせられるものとなりました。また、道中様々な人たちと交流をしましたが、アパレルを着ていることもありほとんどの方が「サッカー関係？頑張ってるね」と声をかけて頂きました。そこで改めてアパレルを切る責任であったり自覚、様々な人の上で自分たちは活動させて頂けていることを実感し感謝する機会になりました。

〈全体を通して〉

今回第5回目の RAC に参加させていただきました。

今回の試合実践は自分の未熟さが大きく露呈してしまったものとなりました。「審判員とは何か」「誰のために行っているのか」などもう一度原点に戻って考えを深めていく必要があると感じました。失敗は元に戻すことはできませんが、この失敗を糧にしてこれから行うという強い気持ちはもちろん、一歩引いて客観的に見ることもこれから意識することでより成長できるのではないかと感じています。今回のように課題や壁にぶつかることがこの RAC に参加する意義であると思うのでこの経験が無駄にせずに地区に還元できるようにこれからも沢山のことを吸収して成長していきたいと思います。

今回派遣して頂いたオホーツク地区サッカー協会の皆様、担当して頂いたインストラクターの皆様、試合の機会を頂きました試合運営関係者の皆様、チーム関係者の皆様誠にありがとうございました。